

大学名 奈良国立大学機構 奈良教育大学

第74号 特集タイトル  
「未来社会に向けた教員養成」

表題 教育委員会との協働による高校・学部・教職大学院・教員就職を貫く教員養成システム

【概要】 奈良教育大学は奈良県教育委員会と連携し、＜高校→学部→教職大学院→教員就職＞を貫く教員養成システムを構築している。このシステムには、全国初のプログラムが仕組まれており、①高校段階から教職に向かう意欲の醸成、②教員養成大学や教職大学院への志願者増加、③子供や教職についての確かな理解と高度の実践力育成、に寄与している。教員志望者の減少に歯止めがかからない中、国立大学として、我が国の初等・中等教育の発展に資する一つのモデルとして全国に発信している。



### 高校段階

◆**奈良県次世代教員養成塾(前期プログラム)**: 本学が主導し、教員志望の高校2年生を対象に1年間実施。特色は次のとおり。

- ・全10回とも「交流」「体験」「振り返り」の時間を設定。
- ・「学ぶことの楽しさ」を基盤に、「教えることの楽しさ」につながる内容で構成。
- ・現職教員や教員志望大学生との交流を設定。
- ・前期プログラム修了生は、本学入試(総合型選抜)において加点措置を付与。

### 学部段階

◆**教職セミナー**: 学部生および教職大学院生が、奈良県若手教員研修の研究授業および授業研究会に参加し、「研修と養成の融合」を図る。

◆**実践系列カリキュラム**: 教育実習の前に「学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)」「(必修)、実習後に履修する「同Ⅱ(地域との協働による学校づくり)」「(選択)」を履修。

◆**教職大学院入試特例措置**: ①本学教職大学院入試(7月募集)合格者は、奈良県教採2次試験に加点措置。②同教採合格者は教職大学院入試(11月募集)において一部試験免除。

### 教職大学院段階

◆**特例措置入学者へのインセンティブ**: 奈良県教採に合格して教職大学院に入学した場合、1年次は学業に専念、2年次は教職に就き、勤務しながら大学院の指導を受ける。2年次の授業料は免除、1年次の授業料は2年次に納入することも可能。

◆**特例措置入学者特別プログラム**: 奈良県の喫緊課題に対応した特別プログラム。特例措置入学者を対象にICT、インクルーシブ教育、小学校英語に係る3つの指導力を強化。それにより赴任後の初任者研修の一部を免除。

◆**「持続可能な社会の創り手」の育成**: 本学の柱であるESD関連科目を「共通五領域」と「専門科目」に配置。

【成果と期待】 次世代教員養成塾の受講高校生数は、直近3年間で79名→81名→88名と増加傾向にある。また、第1期生で本学に入学した14名中11名が教員採用試験に合格した(うち2名は教職大学院に進学)。教職離れが進む中、志願者を増加させる施策とともに、新任教員の質をいかに高めていくかは極めて重要な課題である。高校在学中に抱いた教職への意欲を維持させながら現職教員研修に参画させ教職大学院へと誘う本システムは、他の国立大学においても採用可能なモデルとして期待できる。



次世代教員養成塾



特例措置教職大学院  
入試要項